

平成23年度卒業生の進路状況

1 平成23年度卒業生の進路状況

男女共学化での卒業生も5期目となり、下の「表1」に見るように進路状況もほぼ毎年同じ数字に落ち着いてきたようです。国立大学には160人前後の合格者を出し、旧帝大(北海道・東北・東京・名古屋・京都・大阪・九州)には6~10人の合格者を出しているという状況です。

そんな中でも今年の特徴としては、まず「東京外国語大」に3人の合格者を出したことです。資料を調べる限り過去に(10年前まで)1人も合格者を出していません。一挙に3人の合格者を出したことは特筆すべき点ではないでしょうか。次に「ブロック大学」と呼ばれる旧帝国大学に続く難関大(筑波・千葉・お茶の水女子・一橋・東京工業・横浜国立・金沢・神戸)に20人の合格者を出ることができたことです。中でも千葉大学に8人が合格したのはよく頑張ったと思います。残念であったのは国立大の合格者が昨年に比べて13人減少した点です。センター試験の平均点が昨年より上昇し、点数が取れているので大丈夫と思って受験したところ、2次試験で逆転されてしまうというパターンが多かったように思えます。いくらセンター試験の配点が高い大学であっても、記述力は絶対必要です。センター試験しか使わない教科であっても、あまり早くからセンター対策のみをするのは得策ではありません。2次試験に必要な教科ならなおさら10月ぐらいまではじっくりと記述力を付ける必要があります。

●[表1]過去5年間の現役合格者・入学者数の推移

	国公立 大学合格	国公立大 入学者数	私立大学 入学者数	国公短大 入学者数	私立短大 入学者数	専門学校 入学者数	就職	
							公務員	一般企業
平成19年度	142	124	214	3	9	27	1	3
平成20年度	162	139	186	4	7	14	2	3
平成21年度	182	154	187	2	11	15	2	3
平成22年度	166	147	196	2	6	20	0	2
平成23年度	153	141	195	0	4	26	2	1

●[表2]平成23年度卒業生(現役生)の主な合格大学 ()内は人数

北海道大学(2)	東北大学(1)	千葉大学(8)	お茶の水女子大学(2)	東京外国語大学(3)
東京学芸大学(3)	横浜国立大学(4)	金沢大学(3)	静岡大学(26)	浜松医科大学(5)
静岡県立大学(15)	静岡文化芸術大学(13)	愛知教育大学(4)	名古屋大学(3)	名古屋工業大学(2)
名古屋市立大学(3)	大阪大学(1)	神戸大学(2)	広島大学(3)	早稲田大学(2)
国際基督教大学(1)	上智大学(3)	明治大学(13)	立教大学(9)	法政大学(13)
中央大学(18)	東京理科大学(9)	青山学院大学(11)	南山大学(16)	愛知大学(52)
中京大学(54)	立命館大学(29)	同志社大学(4)	関西大学(12)	関西学院大学(6)

2 浜松市立高校進路課の取り組み

浜松市立高校は、「文武両道の規律ある進学校」です。単に「偏差値の高い」大学への合格を目指すのではなく、普段の規律を重んじ受験を通しての人間力の向上に努めています。難関国公立大学に合格した生徒は、勉強だけでなく部活や学校行事に一生懸命取り組んだものが多く、高校生活をしっかりと全うすることが自分の進路実現につながることを示しています。それぞれの生徒が、各自の最高を目指し、その進路希望が100%達成できることを目標に進路指導の組み立てを行っています。

下の表3は、4月に実施した在校生の進路希望調査の結果です。1、2年生については、ここからさらに自己を見つめ、3年生は今抱えている夢を実現できるようにしていきたいと考えます。

●[表3]参考:平成24年度 在校生 進路志望調査 集計結果(4月実施)

	国公立四大	私立四大	国公立短大	私立短大	専門学校	留学	進学未定	就職	全く未定
1年	313	37	1	0	7	0	70	0	7
2年	346	43	2	0	7	0	7	2	11
3年	300	82	3	0	11	0	6	2	3

浜市ふるさと講座(経過報告)

校長 山本 秀人

近時、若者の勤労観・職業観の未成熟や職業人としての資質・能力が欠如している等の認識から、学校現場におけるキャリア教育の必要性が叫ばれ、その実践が求められるようになりました。しかし、各高等学校でも多様な取り組みがされ始めてはいますが、全国的に見ても商業科・工業科に比べ、普通科(特に進学校)においてはその取り組みが充分とは言えません。そのようなことから、本校でも「市立の高校、また、普通科の進学校におけるキャリア教育はいかにあるべきか」を模索しながら本講座を始めることとしました。

「浜市ふるさと講座」は、本校生徒の働くことへの関心、意欲、目的意識など勤労観・職業観の醸成を主な目的とし、地域を勉強し、地域と連携しながら進める、言わば「地域連携型のキャリア教育」です。「地方分権」「地域主権」がキーワードに挙げられ、地方自治のあり方が今後大きく変化していくことが予想されること、また、本校は浜松市で唯一の「市立の高校」であることなどを踏まえ、地域社会の姿を知り、地域のことにつき理解を深めていくという視点からカリキュラムを企画しています。幸い、当地域には世界規模の有力企業も多く、当地の特徴を学ぶことを通じて経済の全体の仕組みや日本の産業構造、またベンチャースピリット、国際感覚等を養うことは十分に可能です。また、講師陣には地元の行政、大学、企業、NPO等にお願いすることにより、地域との連携(コラボレーション)を密にして、本校生徒にとってより身近な話題を投げかけながら、「職業観」「勤労観」「社会認識力」の醸成を図りたいと考えています。

さて、本講座は2年間で1回転(完結)しますが、この2月に1・2年生それぞれのまとめの講座を開催しましたので、今日はその様子をご紹介します。

1年生は浜松市役所から講師をお招きし、「これからの浜松～浜松の将来像の実現に向けて～」というテーマで御講話いただきました。「市役所の仕事について」「浜松が目指すもの」「浜松市の優先課題」などについて、パワーポイント資料を使いながら分かりやすくお話しいただき、生徒はわが街浜松が今抱えている課題や将来構想(目指すところ)について理解を深めることができました。講師の先生にはお忙しい中御講話いただきありがとうございました。紙面を借りましてあらためて御礼申し上げます。

また、2年生の講座では、浜松で活躍する多様な職種14の企業(団体)にお願いし、「市立生のための職業研究会(企業説明会模擬体験)」を実施しました。生徒はそれぞれ興味ある企業(団体)や分野の会場を回り、具体的な仕事内容や求める人物像、仮に入社する場合の今後の進路等を直接伺うことができました。生徒が将来に向けて進路意識を高める、その一助になれば嬉しく思います。因みに、御参加いただいた企業(団体)は以下の皆様(順不同・敬称略)です。聖隷病院・スズキ(株)・ヤマハ(株)・遠州鉄道(株)・浜松信用金庫(株)・JTB・中日新聞社・グランドホテル浜松(株)・遠鉄百貨店・浜松市役所・浜松中央警察署・浜松市消防局・清水海上保安部・高校教師(本校教員)。また、同時進行で2年生の「情報」の授業では「浜松の活性化」を課題テーマに採り上げ、問題点の抽出やその解決策等について討議し、その研究結果は生徒たちがパソコンによりポスターにまとめ、校内に掲出してくれました。結論の良し悪しもさることながら、討議の過程でブレインストーミングやKJ法、ファシリテーション技術といった手法を学ぶことに主眼を置いており、生徒の発想力や企画力、プレゼンテーション力等を養う機会になればと期待しています。

「浜市ふるさと講座」は今年度も6月から始まります。この市立プレスで順次その様子を紹介していきますのでご覧ください。



全国大会出場の部活動

以下の部活動が全国大会で活躍しましたので、ご報告いたします。

男子テニス部

35HR 鈴木 歩 開成中学校出身

全国選抜の報告

僕たち男子テニス部は全国高校テニス選抜大会に出場しました。昨年はあと一歩のところまで出場を逃したので、今年こそはという思いで一生懸命練習してきました。結果は2回戦敗退でしたが、今後に向けてとても良い経験になりました。全国大会に出場するにあたって多くの人にサポートしてもらいました。そのことを忘れずに感謝し、今後も頑張っていきたいと思えます。



女子テニス部

35HR 江間 美佑 篠原中学校出身

全国選抜の報告

2年連続出場となった全国選抜高校テニス大会。全国大会までたくさんの涙を流して、浜市テニス部が1つになって、やっと手にしたこの切符。絶対後悔はしない!とたくましく胸に全力で戦いました。結果は、2回戦で昨年度の優勝校に敗れてしまいました。しかし、全国の舞台上みんなで戦えたこと。たくさんの人が応援し支えてくれたこと。感謝しております。みなさんに伝えたいことはこの一言につきます。『ありがとうございました。』



なぎなた部

37HR 小原 未咲 富塚中学校出身

全国高等学校なぎなた選抜大会出場

選手全員が全国大会は初めて、という緊張の中での試合でしたが、相手に臆することなく戦ってることができました。団体戦では奮闘むなしく初戦を勝利で飾ることはできませんでしたが、個人戦では3回戦進出を果たすことができました。この大会を通じてより一層士気が高まり、今度はインターハイに向けて私たちが部を引っ張っていくという自覚を持ちました。次こそはより上を目指していこうと思います。



合唱部

31HR 阿部 朱里 北浜中学校出身

声楽アンサンブルコンテスト全国大会出場

私たちは3月23日に福島で行われた声楽アンサンブルコンテスト全国大会と、25日に埼玉で行われた関東ヴォーカルアンサンブルコンテストに出場しました。たくさんの方々の支えもあり、嬉しいことに全国では初めて入賞し、関東では金賞を頂くことができました。今回女声11人で歌った曲を、定期演奏会では女子全員でパワーアップさせて歌う予定です。是非聴きにいらしてください。



